

あらゆる性能が表現力に集約 稀に見る特質を備えたプレーヤー

Text by
井上千岳
Chitake Inoue

Photo by 田代法生

Profile：ノルウェー発、エレクトロコンパニエでアンプと並び、根強い支持を集めるのがCDプレーヤーのEMC1シリーズである。この度同モデルが第5世代へと進化を遂げた。新たなドライブユニットを搭載し、パーツ類も一新。これまで蓄積された技術をベースとして完全に生まれ変わっている。本項では「最近になって格段に音が良くなっている」と同ブランドの製品を高く評価する井上千岳氏がその音を体験。進化の様子をレポートする。



BEST HiFi Components

2022 SPRING

ELECTROCOMPANIET EMC 1MKV

CDプレーヤー

¥1,320,000 (税込)

Specifications

●出力レベル(アンバランス):2.3Vrms ●出力レベル(バランス):4.6Vrms ●ノイズフロア:<-130dB ●周波数偏移:(20~20kHz)0.05dB ●チャンネルセパレーション:>110dB ●全高調波歪み+ノイズ:<0.003% ●ダイナミックレンジ:120dB ●対応フォーマット:CD、CD-R、CD-RW ●デジタル出力:RCA同軸×1、TOS光×1 ●制御入力:RS232、12Vトリガー ●完全バランス設計 ●デジタル/アナログ変換:192kHz ●消費電力:25W(負荷あるいは信号なし)、0.5W(スタンバイ) ●サイズ:470W×422D×188Hmm ●質量:18kg ●取り扱い:シーエスフィールド(株)

5つのハウジングでシールドし 機械的・電氣的干渉を徹底排除

1998年以降のロングセラーEMC1シリーズの最新モデルである。トップローディング・メカによるCD専用設計。内部はアナログ/デジタル/トランスポート/トランス/コントローラーの5つのハウジングでシールドされ、機械的・電氣的な干渉を徹底排除する。またトランスポート・システムは、機械的な歪みによるレーザー・ピクアップへの影響を回避するキャンセリング機構を備えている。さらに電源はアナログおよびデジタル用に専用のトランスと回路を搭載する。

DAC部はフルバランス構成のディスクリット設計。光/同軸のデジタル出力も装備し、底部にはサウンドケア社のスーパースパイコを装着して振動を排除する。

彫が深く強靱なエネルギー 精度の極みのような鳴り方

非常にS/Nがいい。その静かさをベースにして精密な再現性を獲得している。きわめて高品位な鳴り方である。

一音一音の彫りの深さが印象的だ。細かなところまで丹念に掘り

下げて、その周囲を微細な余韻が緻密に取り巻いている。このため出方がデリケートで潤いと柔らかさに溢れ、そこに単なる性能の高さに留まらない品位の高さを感じるのである。

バロックは弦楽器の音色が、古楽器の実演を聴くように瑞々しい響きに富んでいる。オーボエの音色もきめ細かくチャーミングで、それらの織りなすアンサンブルがいつものオーディオとはちよつと次元の違うような夢幻的な世界を開くのだ。音が鳴った途端に、どこか別の場所に連れてゆかれてしまったような雰囲気を感じる。瀟洒で華麗、輝かしさと艶やかさが本当にバロック時代の部屋にいるような心地である。

ピアノも美しいが、バロックとは違って別世界というわけではない。代わって現代のホール空間に入り込んだようなイメージがある。ピアノの存在感が強く、目の前で音が鳴っているのを見ている感覚である。その音のひとつひとつが実に緻密でデリケートなニュアンスに富み、表情がこぼれるような印象がある。立ち上がりも速いのに彫りが深いのに加えて、エネルギーが強靱で周囲にノイズや汚れが皆無なため、一音一音が

くつきりと浮かび上がるのだ。それはフォルテだけでなく、音をひそめた弱音部でも変わらない。それだけの精巧な再現力を、このプレーヤーは持っているのである。室内楽は精度の極みのような鳴り方をする。弦楽器4台の存在感がそれぞれ明瞭で、各楽器の音はつきり独立した表情を持っているのが分かる。それがアンサンブルとして重なるため、表現の層が厚いのである。立体感も高い。滅多に見られない再現性である。

コーラスの気高い純粋さと聴く人を包み込むような温かいおおらかさも、こういうプレーヤーだからこそ引き出せるものだ。人の声だけでなく伴奏の管弦楽からオルガンに至るまで、透明度に富んで純度を極めていく。音楽の真髄に触れて感動できるのは、オーディオならではの経験かもしれない。

オーケストラはエネルギーの豊かさや瞬発力の高さが精密な再現性に加わって、実演そのもののような音場空間と音の実在感を引き出している。大音量でも荒々しい出方になることはなく、金管楽器の艶やかさと滑らかさがそのいい例である。濁りや刺がない。そして彫りが深く細かい。こういう両面性を備えた再現はなかなか得ら

れるものではなく、本機が稀に見る特質を備えていることを実感する。解像度が高いのはもちろんだが、あらゆる性能が音楽的な表現力に集約されてこれだけのものを作り上げたのだと言っている。



本機のリア部。アナログ出力はRCAとXLRが各1系統ずつ。その他にRCA同軸と光TOSのデジタル出力を装備



本機のトップローディングのトレイ部。購入者特典として、通常クランプの代わりに本来はオプション品であるスバイダークランプを付属させる予定



通常のクランプはこちら